

令和5年度 森林環境譲与税の用途について（新居浜市）

事業区分	事業名	森林環境譲与税 (千円)	事業内容	実績
公有林整備	別子山地区森林整備事業	11,676	別子山地区内の市有林整備の実施（市有林の搬出間伐等実施に向けた森林作業道の開設）	森林作業道の開設 延長:2,035m
森林・林業・木材普及活動等	誕生祝品贈呈事業	2,237	地元企業等と連携し、新居浜市ならではの地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、新生児にプレゼントした。	普及啓発イベント等 開催回数:12回 作成数:640個 配布数:688個
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業	581	森林経営管理制度に基づき、市に管理委託を希望する山林について、境界点の測量、山林内の立木の樹種・林齢、本数等の現地調査を実施した。	現地調査面積:約4ha
管理施業（切り捨て間伐）	森林経営管理事業	8,272	森林経営管理制度に基づき、経営管理権集積計画を作成した森林について、管理施業（切り捨て間伐）を実施した。	管理施業（切捨て間伐） 面積:約15ha
意向調査や森林整備の準備作業	林業振興費	165	森林GISを運用するためのサーバーリース料	サーバー1台
林道施設の整備	森林居住環境整備事業	6,000	災害や老朽化により、林道の機能が十分発揮できず、森林整備ができない状況となっている林道について、機能回復工事を実施した。	機能回復工事1か所
私有林整備	森林環境保全整備事業費	2,895	再造林や保育促進のため、国県補助事業（公共造林事業）の対象事業について市の上乗せ補助（事業費の10%以内）を実施した。	人工造林 1.37ha 下刈 9.59ha 間伐 9.31ha
林道施設の整備	林道管理事業	3,136	既設林道の維持管理業務（除草、支障木伐採等）を実施した。	除草、支障木伐採 土砂撤去、舗装修繕
公有林整備	市有林管理費	1,547	市有林内の支障木伐採や下刈等の整備を実施した。	下刈 0.4ha 支障木伐採 2回 土砂撤去 1回
森林・林業・木材普及活動等	市民の森整備事業	3,801	市民の森に木製遊具を設置した	木製遊具1基 (ターザンロープ)
森林・林業・木材普及活動等	市民の森管理費	2,079	森林公園である市民の森の遊歩道や防火帯等草刈り業務を実施した。	遊歩道等園内 草刈り実施
林道施設の整備	林道維持管理事業	1,312	森林施業の基盤施設である森林組合林道を適正に維持・管理するための経費に対し、補助を実施した	森林組合林道 11路線の除草

- ▶ 新居浜市の別子山地区の森林面積は7,079haと総面積の約97%を森林が占めるなか、別子山地区の市有林(約1,600ha)の森林機能の向上と有効活用が求められている。
- ▶ 地域の北側に位置する市有林は、林道からの距離が遠く、急峻な地形であることから、適正な森林管理が滞りがちであるため、この市有林の森林整備の促進と木材資源の有効活用、雇用促進等による地域の活性化を図ることを目的に、別子山地区森林整備計画を策定し、令和元年度より事業を開始。
- ▶ 令和5年度は、市有林内の作業道の開設及び搬出間伐を実施するとともに、間伐材を地域内の木材加工所において活用した。

□ **事業内容**

森林作業道の開設

- ・市有林を搬出間伐するために、森林作業道の新規開設を実施。

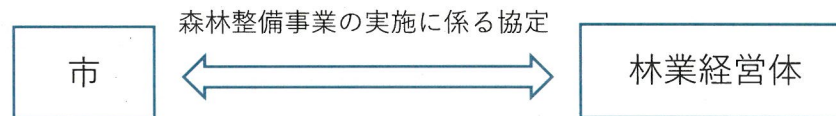
【事業費】46,046千円(うち譲与税11,676千円)

【実績】新規開設2,035m



□ **事業スキーム**

別子山地区森林整備事業



□ **工夫・留意した点**

- ・別子山地区に多くの森林を所有し、長年の管理実績がある林業経営体と事業実施に係る協定を締結し、協働で事業を実施。
- ・路網整備、搬出間伐等の実施による森林整備の促進と木材資源の有効活用により地域の活性化を図る。

□ **基礎データ**

①令和4年度譲与額	39,626千円
②私有林人工林面積(※1)	7,209ha
③林野率(※2)	72.9%
④人口(※3)	115,938人
⑤林業就業者数(※4)	34人

※1、2:「2020農林業センサス」より、※3:「R2国勢調査」より

※4:「H27年国勢調査」より

- ▶ 新居浜市は別子銅山の開坑とともに栄え発展してきたまちであり、銅の採掘により伐採された山々が、明治期の植林事業により現在も青々とした姿を保っている森の自然・風景も、先人から受け継いだ大切な資産のひとつである。そこで本市では、市民に森や木々、新居浜市の歴史を身近に感じられるきっかけづくりとして、平成31年4月に「ウッドスタート宣言」を行い、生活の中に木を積極的に取り入れる取組を推進し、広く市民に普及啓発をすることを森林環境譲与税の活用方針の一つとしている。
- ▶ 令和5年度においては、地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、誕生祝品として新生児にプレゼントする取組みで木材利用の普及啓発を行った。

□ 事業内容

誕生祝品贈呈事業

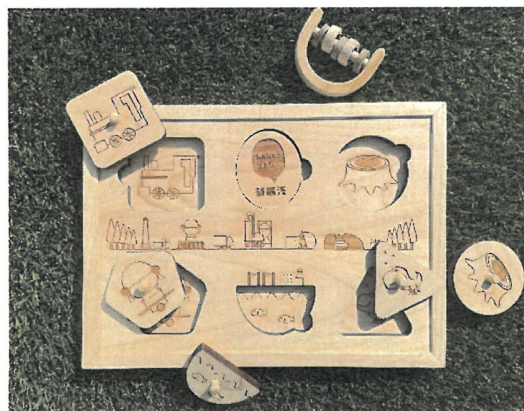
子育て環境の中に積極的に木を取り入れ、小さいころから木材製品に触れることを通じ、森林の大切さを考えるきっかけづくりとしてもらうため、地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、誕生祝品として新生児に地元産材を活用した木製のパズルをプレゼントした。

【事業費】4,475千円（うち譲与税2,237千円）

【実績】作成数640（配布数688）



（1：製作過程）



（2：贈呈するパズル）

□ 事業スキーム

誕生祝品贈呈事業

資材1次加工→2次加工→検品→納品→贈呈
（新生児5か月健康相談時）

□ 工夫・留意した点

- 新生児への木製玩具の贈呈は全国的に広がりを見せている「木育」の行動プランである「ウッドスタート宣言」により実施する事業である。
- 木製玩具は地元産の木材を使用し、地元企業が製作・加工している。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額	39,626千円
②私有林人工林面積（※1）	7,209ha
③林野率（※2）	72.9%
④人口（※3）	115,938人
⑤林業就業者数（※4）	34人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より